



平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 26 年 11 月 13 日

上場会社名 オイシックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3182 URL <http://www.oisix.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 哲也 (TEL) 03(5447)2688  
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 11 月 14 日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期の業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期第 2 四半期	8,366	13.4	89	△75.7	100	△74.0	55	△75.8
26 年 3 月期第 2 四半期	7,375	7.5	368	19.7	386	23.1	230	19.7

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27 年 3 月期第 2 四半期	9	63	8	77
26 年 3 月期第 2 四半期	42	07	36	03

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27 年 3 月期第 2 四半期	5,768	3,445	59.7
26 年 3 月期	5,690	3,373	59.3

(参考) 自己資本 27 年 3 月期第 2 四半期 3,445 百万円 26 年 3 月期 3,373 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27 年 3 月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 27 年 3 月期の業績予想 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	18,300	15.0	750	1.3	775	0.0	465	6.4	80.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	5,809,148株	26年3月期	5,749,400株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	—株	26年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	5,800,562株	26年3月期2Q	5,481,826株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第 2 四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により一部で弱い動きも見られましたが、金融・財政政策の効果が下支えする中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界を巡る動きとしては、原子力発電所事故に伴う食品の放射能汚染問題のほか、7月に発覚した期限切れ鶏肉事件を契機に、中国産食品の安全性が改めてクローズアップされるなど、食の安心・安全に関する消費者の意識は引き続き高い状況にあります。

EC業界を巡る動きとしては、大手EC事業者や大手流通企業が、引き続きネット・スーパー事業強化に取り組む中で、一部ではネット・スーパー事業からの撤退を決める事業者も出るなど、競争環境に変化が見られます。

このような環境を背景に、当社では成長市場である食品EC市場におけるOisixブランドの確立や、高付加価値食品分野における独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

具体的には、SEO（Search Engine Optimization 検索エンジン最適化）・SEM（Search Engine Marketing 検索エンジンマーケティング）の強化やFacebook等のSNSを活用した顧客開拓、お客様の嗜好や属性に合わせたWebページ作成による顧客転換率の向上を図るほか、イベント等を通じた対面での勧誘を強化することにより、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」への集客に引き続き注力いたしました。

また、高付加価値ブランド食品の取り扱いの拡大や、単品定期購入サービスの強化等により、購入単価の向上に取り組むほか、スマートフォン対応の強化など、お客様により便利にお買い物していただくためのサービス改善にも注力いたしました。

併せて、海老名配送センターを中心に業務効率・コスト効率の改善を図るなど収益基盤強化に努めるとともに、平成26年5月より、企業の福利厚生需要をターゲットに、当社が取り扱う良質な野菜を使ったサラダをオフィスにお届けするサラダデリバリーサービスを開始するなど、新規サービスの育成にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は8,366,232千円（前年同期比13.4%増）となりました。利益面においては、新規顧客の獲得を目的とした販売促進費を例年以上に投下したことから、営業利益は89,723千円（前年同期比75.7%減）、経常利益は100,465千円（前年同期比74.0%減）、四半期純利益は55,882千円（前年同期比75.8%減）となりました。

販売経路（事業区分）別の売上高については、次のとおりであります。

#### 〔EC事業〕

インターネットを通じて食品・食材の直販を行うEC事業においては、より多くの新規顧客を獲得するために、引き続き販売促進費を積極的に投下したことから、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成26年3月末）の82,081人から、当第2四半期会計期間末（平成26年9月末）には91,540人へ増加いたしました。これは前年同期（平成25年3月末：73,865人→平成25年9月末：75,816人）に対して、増加数にして約7,500人の上積みとなっており、概ね計画通りに推移しております。

また、お客様の購入単価向上のための取り組みとして開始した高付加価値ブランド食品を当社サイトにて取り扱うサービス「Oiチカgourmet」は、平成26年9月末現在、全75ブランドに拡大いたしました。

このほか、平成25年7月より開始した、ワーキング・マザーなど忙しい女性の方向けに、安心・安全な献立が20分で完成する時短献立キット「KitOisix」を毎週お届けする定期宅配コース「KitOisix献立コース」の会員が、当第2四半期会計期間末（平成26年9月末）には13,000人を超え、累計販売数は500,000キットを突破しております。

加えて、夏場の長雨など天候不順による野菜の価格高騰を背景に、「ふぞろい」や「たくさん採れすぎ」をキーワードとしたアウトレットコーナーの充実を図るなど、お客様の食卓を応援する企画を実施してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間におけるEC事業の売上高は7,660,025千円（前年同期比14.5%増）となりました。

<参考情報>一定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数推移（四半期単位）

（単位：人）

平成25年 3月末	平成25年 6月末	平成25年 9月末	平成25年 12月末	平成26年 3月末	平成26年 6月末	平成26年 9月末
73,865	76,937	75,816	77,475	82,081	87,018	91,540

〔その他事業〕

その他事業においては、平成25年11月より開始した「三越伊勢丹エムアイデリ」の物流サービス等の受託を契機に、当社が保有するアセット・ノウハウを活用し、他社に対し、食品を主な取り扱い商材として三温度帯（冷凍・冷蔵・常温）の物流機能等を提供する事業を、「オイシックスフルフィルメントサービス（略称：オイフル）」として本格的に展開しており、新規クライアントの開拓に注力しております。

また、店舗事業においては、中規模店として平成26年1月にオープンした「Oisix CRAZY for VEGGY（オイシックス クレイジー フォー ベジー）アトレ吉祥寺店」の収益力向上に注力いたしました。

一方で、平成23年3月にオープンした二子玉川店については、店舗運営ノウハウの獲得という所期の目的を達したと判断し平成26年7月に閉店いたしました。同時に出店していた同一フロア内にある東急ストア二子玉川ライズ店に、Oisix専用コーナーを開設いたしました。この他社が運営する実店舗型スーパーにOisix専用コーナーを設ける「Shop In Shop」の取り組みは、東急ストアのほかクイーンズ伊勢丹でも展開しており、今後も順次拡大していく予定となっております。

これらの結果、当第2四半期累計期間におけるその他事業の売上高は706,206千円（前年同期比2.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して78,142千円増加し、5,768,537千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ25,283千円増加し、4,454,861千円となりました。これは主に現金及び預金の減少153,222千円、売掛金の増加97,386千円、商品及び製品の増加27,281千円、未収入金の増加50,070千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ52,858千円増加し、1,313,675千円となりました。これは、有形固定資産の減少25,077千円、無形固定資産の増加20,151千円、投資その他の資産の増加57,784千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して5,847千円増加し、2,322,987千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ17,242千円増加し、2,241,667千円となりました。これは主に買掛金の増加77,596千円、未払金の増加91,237千円、未払法人税等の減少168,828千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ11,394千円減少し、81,319千円となりました。これは、資産除去債務の減少1,797千円とその他の減少9,597千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して72,294千円増加し、3,445,549千円となりました。これは、資本金の増加8,209千円、資本剰余金の増加8,202千円、四半期純利益55,882千円の計上によるものです。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より153,222千円減少し、2,225,683千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により、13,517千円の資金の減少（前年同期は340,001千円の収入）となりました。これは主に税引前四半期純利益100,465千円、減価償却費78,146千円、売上債権の増加額97,386千円、未収入金の増加額50,070千円、たな卸資産の増加額34,010千円、仕入債務の増加額77,596千円、未払金の増加額102,119千円、法人税等の支払額199,537千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、154,813千円（前年同期は109,517千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出85,044千円、関係会社株式の取得による支出48,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、14,874千円（前年同期は54,431千円の収入）となりました。これは株式の発行による収入15,378千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出503千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日付「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました平成27年3月期通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,378,906	2,225,683
売掛金	1,506,509	1,603,895
商品及び製品	253,500	280,781
仕掛品	5,088	6,088
原材料及び貯蔵品	9,747	15,476
未収入金	221,153	271,223
その他	125,700	122,830
貸倒引当金	△71,028	△71,118
流動資産合計	4,429,577	4,454,861
固定資産		
有形固定資産	624,168	599,090
無形固定資産	325,030	345,182
投資その他の資産	311,617	369,402
固定資産合計	1,260,816	1,313,675
資産合計	5,690,394	5,768,537
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,068,320	1,145,916
未払金	654,428	745,666
未払法人税等	206,953	38,124
ポイント引当金	101,816	85,998
その他	192,905	225,960
流動負債合計	2,224,424	2,241,667
固定負債		
資産除去債務	60,408	58,611
その他	32,305	22,708
固定負債合計	92,714	81,319
負債合計	2,317,139	2,322,987
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	857,397	865,606
資本剰余金	612,162	620,365
利益剰余金	1,903,695	1,959,577
株主資本合計	3,373,255	3,445,549
純資産合計	3,373,255	3,445,549
負債純資産合計	5,690,394	5,768,537

(2) 四半期損益計算書  
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
売上高	7,375,938	8,366,232
売上原価	3,809,514	4,387,857
売上総利益	3,566,424	3,978,374
販売費及び一般管理費	3,197,528	3,888,650
営業利益	368,896	89,723
営業外収益		
受取利息	192	223
受取補償金	9,855	3,910
その他	7,424	8,152
営業外収益合計	17,472	12,285
営業外費用		
支払利息	26	20
株式交付費	176	1,034
その他	74	488
営業外費用合計	277	1,543
経常利益	386,091	100,465
税引前四半期純利益	386,091	100,465
法人税、住民税及び事業税	173,750	31,836
法人税等調整額	△18,263	12,746
法人税等合計	155,486	44,583
四半期純利益	230,604	55,882

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	386,091	100,465
減価償却費	60,917	78,146
のれん償却額	12,236	12,236
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,015	89
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	12,310	△15,817
受取利息及び受取配当金	△192	△223
支払利息	26	20
株式交付費	176	1,034
為替差損益 (△は益)	△146	△234
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,450	△97,386
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△24,498	△34,010
未収入金の増減額 (△は増加)	△36,846	△50,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,942	77,596
未払金の増減額 (△は減少)	50,211	102,119
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,306	3,586
その他	△37,171	8,307
小計	419,044	185,859
利息及び配当金の受取額	156	179
利息の支払額	△26	△20
法人税等の支払額	△79,172	△199,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,001	△13,517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,192	△10,384
無形固定資産の取得による支出	△31,393	△85,044
投資有価証券の取得による支出	△73,500	△5,882
関係会社株式の取得による支出	—	△48,000
貸付金の回収による収入	177	182
敷金及び保証金の差入による支出	△806	△4,471
敷金及び保証金の回収による収入	13,197	454
その他	—	△1,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109,517	△154,813
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△881	△503
株式の発行による収入	55,313	15,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,431	14,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	234
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	285,062	△153,222
現金及び現金同等物の期首残高	1,959,136	2,378,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,244,199	2,225,683

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行う EC 事業とその他事業から構成されておりますが、EC 事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC 事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

II 当第 2 四半期累計期間(自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行う EC 事業とその他事業から構成されておりますが、EC 事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC 事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。